

タウンペット防犯灯（屋外用）

品名	品番	自動点滅器	ランプ品番
エバーライト XY5510K	YEV (YEVH) 35010K	自動点滅器 なし	エバーライト 50 YK99846 (白色)
エバーライト XY5511Z	YEV (YEVH) 35011Z	自動点滅器 内蔵	
エバーライト XY5520K (低誘虫型)	YEV (YEVH) 35020K	自動点滅器 なし	
エバーライト XY5521Z (低誘虫型)	YEV (YEVH) 35021Z	自動点滅器 内蔵	
エバーライト XY5560	YEV (YEVH) 35010K	自動点滅器 なし	エバーライト 50 YK99847 (電球色)
エバーライト XY5561Z	YEV (YEVH) 35011Z	自動点滅器 内蔵	

適合オプション

オプション 器具品番	オプション品名
YK22815	電力柱取付バンド (φ190~350 適合)
YK23097	鋼管柱取付バンド (φ60.5~114.3 適合)
YK23095	壁面取付金具 (角度可変型)
YK23096*	電力柱・鋼管柱取付金具 (角度可変型)
YD141M	ポールヘッド用アーム (1灯用/角度可変型)
YD142M	ポールヘッド用アーム (2灯用/角度可変型)

※電力柱・鋼管柱取付時、組み合わせてご使用
いただくと、灯具取付作業が簡単に行えます。
※左記()内は加工品番です。
(以降、加工品番の記載を省略します。)

器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

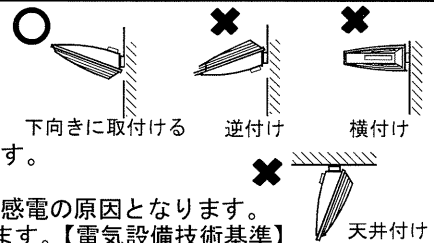
施工説明

工事店様へ、この説明書は保守の為お客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

- 施工は、施工説明書にしたがって確実に行う。
施工に不備があると落下・感電・発火の原因となります。
- 器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 振動や衝撃の多い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しない。
落下・感電・火災の原因になります。
- 器具の逆付け、横付け、天井付けは行わない。落下・感電・火災の原因になります。
- 電源線との接続は、スリーブ等により確実にを行い、自己融着テープを巻いてから、
絶縁テープを巻いて仕上げ、十分に絶縁・防水処理をする。接続に不備があると感電の原因となります。
- 接地工事（D種接地工事）を確実にを行う。接続に不備があると感電の原因となります。【電気設備技術基準】
- 単線とより線の直接接続（ねじり接続等）はしない。必ず専用工具で圧着すること。火災の原因となります。



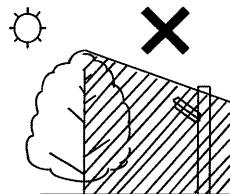
注意

- この器具は屋外用（防雨型）器具です。それ以外の場所では使用できません。落下・感電・火災の原因になります。
- 質量に耐える所に確実に取付けてください。（灯具の耐風速は、60m/sです。）強風による落下の原因になります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）、周波数以外の電源で使用しないでください。感電・火災の原因になります。
- 周囲温度35℃以上での使用はしないでください。又、施工時の一時的な点灯確認以外は、日中点灯させないでください。発火およびランプ・ユニットの短寿命・破損の原因となります。
- 始動時に右表の突入（インラッシュ）電流が発生します。弊社製配線器具に接続できる灯具台数は、
承認図又は次ページ『注1』を参照してください。接続に不備があると発火の原因になります。
- 寒冷地で使用する場合、つららが落ちると危険が生じるような場所には設置しないでください。
つらら落下による怪我の原因となります。
- 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する。けがのおそれがあります。

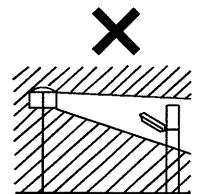
使用上の注意

- 周囲温度-10℃以下で使用はお奨めできません。明るさが得られない場合があります。
- 低誘虫型器具（YEV35020K、YEV35021Z）の場合、低誘虫の効果は虫の種類（さう光性の有無）、
周囲の環境（付近に明るい光源がない等）によって異なります。
- 低誘虫型器具のグローブは、一般型と比べて青味がかっています。
- 自動点滅器内蔵タイプ（YEV35011Z、YEV35021Z）は以下のことにご注意ください。

・屋間でも暗い場所（木かげ、
ひさしの下等）に取付けますと、
早く点灯、遅く消灯することが
ありますが異常ではありません。



・夜間でも明るい場所、隣地や
街路の照明が自動点滅器に直接
当たる場所への取付けはお避け
ください。
点灯しないことがあります。



各部のなまえと取付方法



警告

- 器具の取付は施工説明書により確実に取付を行う。
取付に不備があると器具の落下、感電、火災の原因となります。
- ランプの取り付け、取りはずしの際は、ランプの破損に備え保護眼鏡などを着用し、目の保護を行う。
- ランプに衝撃を加えない。ランプが破裂し、ガラスが飛散する可能性があります。
- ランプは保護袋に入った状態で取り付ける。破損した場合ガラスが飛散する可能性があります。
- ランプ取付後は、必ず保護袋を取りはずす。保護袋を付けたまま点灯すると、火災の原因になります。

1 グローブを開ける

- ・止め金具をたおしグローブを開けてください。
パワーカブラのコイル部には絶対に触れないでください。不点につながる恐れがあります。

2 ランプを装着する

保護袋をランプからはずさずに取り付けてください。破損した場合ガラスが飛散する可能性があります。

- ・ランプをパワーカブラに垂直に挿入し、時計回りに回転させ、止まるまで回転させる。口金部の角穴がパワーカブラで塞がれていることを確認してください。ランプ落下の原因になります。

3 ランプから保護袋を取りはずす

- ・ランプの破損の無いようにはずしてください。はずし忘れると、火災の原因となります。

4 グローブを閉じる

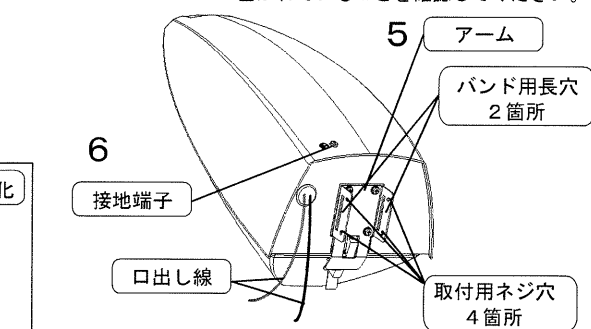
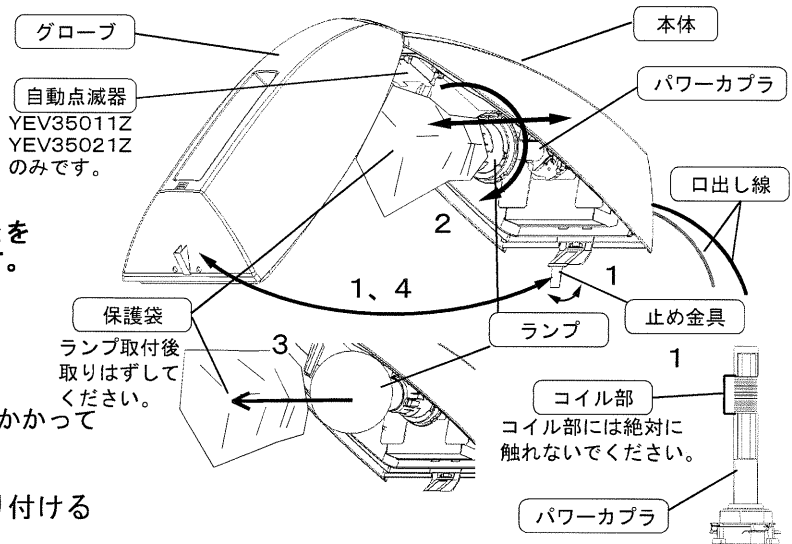
- ・グローブを本体側へ押込み、止め金具が確実にかかっていることを確認してください。不備があると落下・破損の原因となります。

5 オプション（別途）を使用して、器具を取り付ける

- ※取り付け方は次ページを参照してください。

6 口出し線に電源線・アース線を結線する

- ・電源線との接続は、スリーブ等により確実にを行い、自己融着テープを巻いてから、絶縁テープを巻いて仕上げ、十分に絶縁・防水処理をしてください。
- ・D種（第3種）接地工事が必要。
- ・口出し線の接続は、電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈第12条にしたがうこと。
- ・口出し線の種類：ビニル絶縁電線 ・電線の線径：1.25mm²



警告

接続・保護が不完全な場合、感電・火災の原因となります。

■初期点灯黒化について

点灯初期に発生する現象です。管内の水銀がバルブ上部に付着することによって起こります。点灯中、温度の上昇によって水銀が蒸発し、黒化は消えます。点灯後、再度黒化が発生することがありますが、点灯を続けることで黒化は減少します。この現象は、発光体の寿命や特性には影響ありません。

初期点灯黒化



- ・弊社製配線器具に接続できる灯具台数は下記を参照してください。注1)

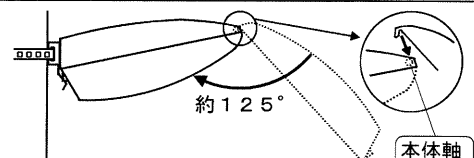
灯具品番	YEV35010K、YEV35011Z、YEV35020K、YEV35021Z (100Vのみ)						
	弊社製配線器具			弊社製配線器具			感度漏電
	AC100V	AC200V	AC242V	AC100V	AC200V	AC242V	
15A フルカラースイッチ	16台	20台	16台	20AHA プレーカ	14台	28台	—
20A フルパワーリモコン	16台	34台	40台	20A リモコン漏電プレーカ CLE型	14台	28台	15mA/30mA
T/U付6A リレユニット	6台	14台	16台	20A カンタッチプレーカ BKFE型	14台	28台	30mA
20A リモコンプレーカ CL型	14台	28台	32台	20A コンパクト漏電プレーカ	14台	16台	30mA
20A カンタッチプレーカ	14台	28台	32台	20A 小型漏電プレーカ	14台	28台	30mA
20A コンパクトプレーカ	14台	16台	—				

接続に不備があると感電・火災の原因になります。

グローブがはずれた場合の取り付け方

- ・グローブは一定方向のみで取付けられる構造になっています。
- ・右図の様にグローブを約125°開放した位置で本体に取付けてください。
- ・取付ける際、本体の軸がグローブ取付部に確実に入っている事を確認してください。

取付けが不十分な場合グローブ破損の原因となります。

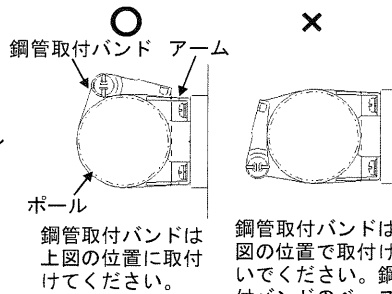
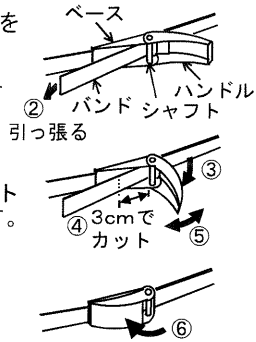


オプションによる器具の取付けかた

鋼管取付の場合

[YK23097 を使用]

- ①アームのバンド用長穴にバンドを通し鋼管に巻きつける。
- ②バンドの先端をシャフトの間(シャフトは2枚構造)に通してたるまない程度にはります。
- ③ハンドルを90°起こして仮止めします。
- ④バンドのあまった部分をシャフトから3cmのところまで切断します。
- ⑤ハンドルを往復作動させ(ラチェット機構)ベルトを緩むことなく十分に締めます。
- ⑥ハンドルをベースに重なるまで倒してストッパーをはめます。

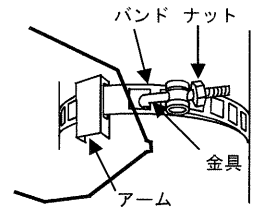


φ 60 等小径の鋼管取付の場合

電力柱取付の場合

[YK22815 を使用]

- ①アームのバンド用長穴へ通し電力柱へ巻きつける。
- ②金具を穴に引っ掛ける。
- ③ナットを確実に締め付ける。

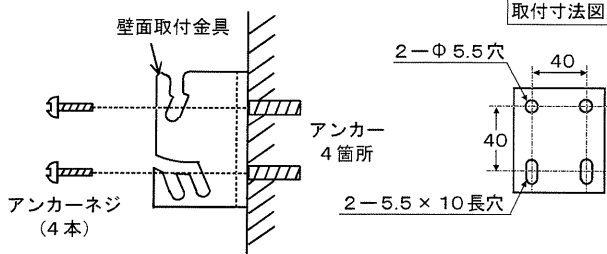


壁面取付の場合

[YK23095 (角度可変型) を使用]

壁面取付金具を壁面に、アンカー等(別途)で4箇所を確実に取り付けてください。

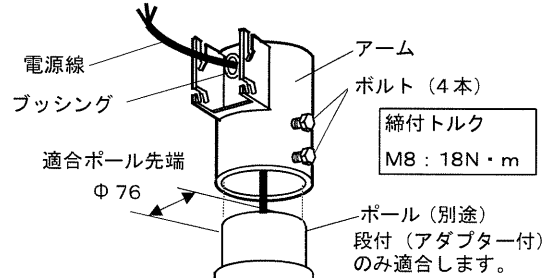
強風や積雪のある所に取り付けしないでください。落下の原因となります。



ポールヘッド取付の場合

[YD141M、YD142M (角度可変型) を使用]

ポール先端にアーム付属のボルト(4本)で固定してください。



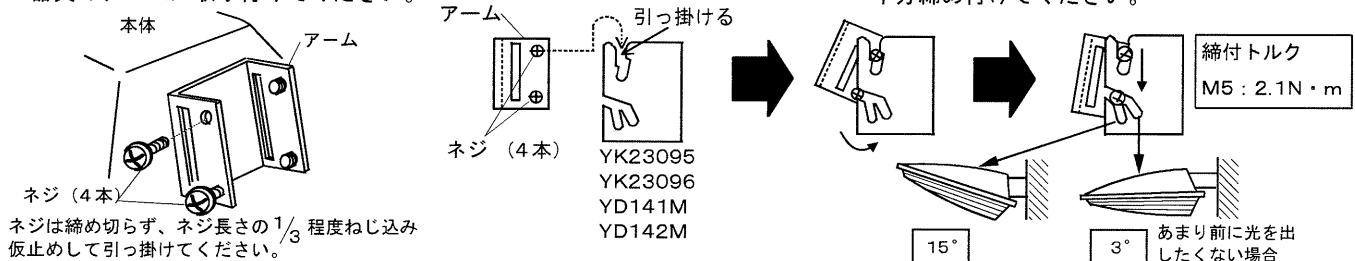
ポールとアームの取付時、電源線をはさまないように注意してください。(図はYD141Mで説明していますが、YD142Mも同じです。)

角度可変型金具への器具の取付け方

[YK23096 (鋼管・電力柱用)、YK23095 (壁面取付用)、YD141M、YD142M (ポールヘッド取付用)]

※ YK23096 の鋼管及び電力柱への取付は、上記(鋼管、電力柱取付の場合)参照の上、YK23097、YK22815 で取付けてください。

- ①各オプション付属のネジ(4本)を器具のアームに取り付けてください。
- ②金具に引っ掛けて取付けてください。
- ③15°、3°の角度に器具をおろしてネジを十分に締め付けてください。

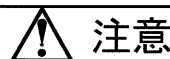


自動点滅器の交換方法 (YEY35011Z、YEV35021Zの場合)



警告

- ランプの破損に備え、安全のため保護眼鏡などを着用し目の保護を行う。
- ランプに衝撃を加えない。ランプが破裂し、ガラスが飛散する可能性があります。



注意

- 電気工事店などの専門家以外は、グローブを開けないでください。
- 必ず電源を切って作業を行ってください。感電の原因になります。

1 止め金具をたおしてグローブを開ける

2 自動点滅器を取り出す

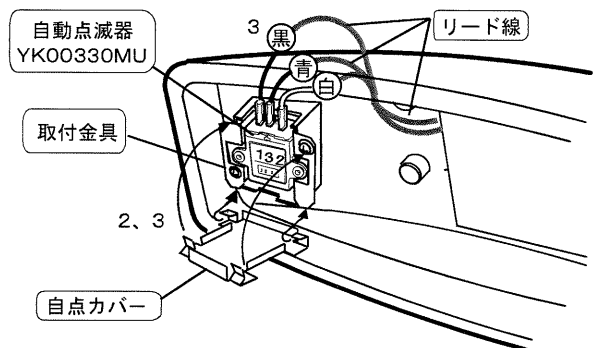
- ・自点カバーを開け取付金具から自動点滅器を取り出してください。
- ・自動点滅器からリード線を取りはずしてください。

3 自動点滅器を取り替える

- ・自動点滅器は YK00330MU をご使用ください。
- ・自動点滅器の1番の端子に黒、2番の端子に白、3番の端子に青のリード線をそれぞれ接続してください。
- ・自動点滅器を取付金具に取り付け、自点カバーをはめてください。

4 グローブを本体に押し込む

- ・グローブが止め金具に確実に掛かっていることを確認してください。不備がありますと浸水・落下・感電の原因となります。



安全に関するご注意

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ正しくお使いください。

警告

- 器具の改造および、構成部品の交換を行わない。感電・発火の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。感電・火災の原因となります。
- かけやひび割れの発生しているグローブは使用しない。落下・感電・発火の原因となります。

注意

- お手入れの際には、必ず電源を切ってから行ってください。感電・やけどの原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置場所により環境ストレスはことなります。ご使用期間が15年に満たなくても発錆があればすぐに点検・交換をしてください。
また、設置して15年※経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をしてください。
※使用条件は周囲温度30℃、1日12時間点灯です。
- 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- アクリル製グローブは、太陽光の紫外線によって劣化します。設置後10年を超える場合は、工事店等の専門家によるクラックの有無点検をお受けいただき、異常がある場合は交換をしてください。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
3年間に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。
- アームの端面部に初期赤錆が発生しますが、耐食性に問題はありません。
詳しくは別紙承認図『Zn-Al系合金メッキの特性について』（図面：T4AA20120-K*）をご覧ください。
- 寒冷地で使用する場合、つららが落ちると危険が生じるような場所には設置しないでください。
つらら落下による怪我の原因となります。

保証について

- 1: 保証について
この商品の保証期間は1年間です。エバーライトユニットは3年間です。
但し、消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 2: 保証書について
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 3: 補修性能部品（電気部品）について
弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れについて**注意**

- 必ず電源を切って、器具が十分冷えてから行ってください。感電・やけどの原因になります。

- 器具の清掃について…………… 汚れを落とす場合は、石けん水をひたしたやわらかい布をよく絞ってふきとり乾いた布で仕上げてください。
アルカリ系洗剤、シンナー、ベンジンでふかないでください。
変色・変質の原因となります。
強い水圧をかけての清掃はしないでください。
感電の原因となります。
- ランプについて…………… 万一、衝撃などにより、ランプが破損してしまった場合、ランプの補修は、販売店・電気工事店にご依頼ください。
- 自動点滅器交換について…………… YEV35011Z、YEV35021Zの自動点滅器は、YK00330MUをご使用ください。

定 格

品 番	電 圧	入 力 電 流	消 費 電 力	周 波 数	ランプ電力
YEV35010K、YEV35020K	AC100 - 242V	0.58 - 0.24A	58 - 55W	50Hz / 60Hz	50W
YEV35011Z、YEV35021Z	AC100V	0.58A	58W		

パナソニック株式会社 ライティング機器ビジネスユニット

〒571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先 パナソニック 照明と住まいの設備・建材お客様ご相談センター

0120-878-709(フリーコール) 0120-872-460(FAX)